



武蔵野市長

松下玲子通信 <創刊号> 2018/6/20

松下玲子を応援する会 E-mail: reiko@matsushita.name

FAX: 0422-50-0697

〒180-0006 武蔵野市中町 1-2-3 ミタカハイム 501

創刊に寄せて

代表世話人 宮子あずさ (吉祥寺東町)

松下玲子を応援する会の代表世話人を務めます宮子あずさです。私は都議会議員時代に松下市長の吉祥寺駅頭での演説に聞き惚れて以来、政治家・松下玲子を心から支援して参りました。

社会全体を見れば、さまざまな場面での不寛容、いわゆる右傾化が懸念される状況です。現状にあって、自由で民主的な市政を目指す松下市長の存在は、非常に大きいと考えます。

今私は自由と平等、少数派を排除しない民主主義を強く志向する市民として、武蔵野市に松下市長、と言える喜びを噛みしめています。

また、応援する会では、支援者と支援者を結ぶ定期行物として、「松下玲子通信」を発行いたします。松下市長の活動をお伝えするとともに、皆さんの声も載せていきたいと思っております。

ご挨拶

武蔵野市長 松下玲子

昨年就任以来、慌ただしくも市長としての公務に励んでいます。情報量の多さに驚きながらも、毎日起きる様々な事と向き合い、意思決定の連続です。そのような中で、私が心掛けていることがいくつかあります。14万6千人の武蔵野市民、誰も切り捨てず、排除していないかどうか、市民理解が得られるかどうか、未来の武蔵野市に必要なかどうかです。一見するとキラキラ輝いているような言葉でも、困難を抱えている人にとっては苦しい言葉になることがあります。行政が出す計画書の言葉の使い方から気を付けるように指示を出し、今年度様々な計画作りに携わっています。

今、この時に意思決定が出来る立場に居る事を最大限活かして、市民の皆さまの声を集めて市政運営に取り組みます。応援宜しくお願い致します。

新春の集いを開催いたしました

東急REIホテルにて

去る1月27日(土)、東急REIホテルにて「松下玲子市長就任パーティー&新春の集い」を開催いたしました。

当日は、約300人の皆さまにお集まり頂き、市長就任後初の集いを無事に執り行うことができましたことを、心より感謝しております。ご参加の方々より頂きました「一言メッセージ」コーナーでは、皆さまから熱いお言葉を頂戴し、松下玲子市長を激励頂きました。また、弦楽4重奏の調べに合わせての「早春賦」の合唱も大変感慨深い、素敵なひとときとなりました。ありがとうございました。

来年の新春の集いではこんなコーナーを、合唱にはぜひこの曲を、というご意見などがございましたら、どうぞ「松下玲子を応援する会」までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。



■ はじめに

就任から8カ月が経過しました。毎日忙しい？とよく聞かれますが、本当に忙しい毎日です。どんな毎日かといいますと、市役所内での職員との打合せ、来客対応、友好都市からの来訪、様々な審議会や協議会など会議の開催、毎日大量の決裁資料に目を通した上で決裁印を押す、市長への手紙など市民からの意見をはじめとする様々な市内の状況把握等々、分刻みに動いています。

「市報むさしの」のコラムや、様々な市の広報物で私の思いの一端をお示ししてはいますが、改めてどんな思いで日々過ごしているか、職員には何を伝えどのような指示をしているか、後援会の皆さまに直接お伝えしたいと思います。

市長選時の公約実現に向けた2018年度予算の概要や、様々な武蔵野市の計画づくりについてお伝えしようかとも思ったのですが、その前提となる思いや議員を経験した上で良かったことなど、率直にありのままにお伝えします。

■ 組織づくりは人事から！

昨年秋の就任時、施政方針演説では、これからの武蔵野市にとって大切な課題はふたつ、少子高齢社会への対応と老朽化したインフラ整備への取り組みである、とお話しました。このふたつの大きな課題に対応するためには、まずは副市長人事が大切であると考え、昨年12月1日からは技術職の恩田秀樹都市整備部長を第二副市長に、今年4月1日からは笹井肇健康福祉部長を第一副市長に提案し、議会の承認をいただきました。

恩田さんはまちづくり分野、笹井さんは防災や健康福祉分野で実績のある方です。私自身は、市の職員としても議員としても、武蔵野市役所で働いた経験がありません。従って、仕事を支えていただく副市長には市役所内から選びたいと思い、実現しました。笹井さんは制度や運用を巡って、国や都とも時には喧嘩も出来ることもあり、副市長をお受けいただくにあたって、じっくりお話をして思いを共有する事が出来ました。お二人の個性も活かして、様々な課題解決に取り組んでいきたいと思います。

教育長は、竹内道則教育部長を提案し、議会の承認をいただきました。武蔵野市の教育長はこれまでは校長経験者や教員経験者が務めており、行政職だった方が退職し教育長となったことは無いようです。けれども、私としてはこの間の小中一貫教育検討の経緯を承知した上で、武蔵野市にとってより良い教育と一緒に考える事が出来る人をお願いしたいと思っていましたので、様々検討した結果、竹内さんをお願いした次第です。武蔵野での小中一貫教育は、検討委員会では結論が出ませんでした。今後全市民的な議論を行った上で結論を出していかなくてはなりません。

新体制となった武蔵野市、市民の皆さまのご期待にお応え出来るよう、努力してまいります。

■ 私の思い

意思決定が出来る立場にあるということ、最終的な責任は私にあるということを重ねて、様々な事業や計画づくりに取り組んでいます。理事者協議とかたちで、市の職員と打ち合わせをした上で、様々な指示を出しています。その際に伝えているのは、行政が価値観を押し付けてはいないか、誰かを排除したり差別してはいないかということ。その文章を見た人が嫌な思いをしないかということなのです。

良かれと思って独りよがりになっていないかということも大切です。市民ひとりひとりが自由に伸びやかに生活出来る基盤づくり、安心して住み続けられるまちづくりに向けて、皆さまとともに歩みを進めてまいります。

支援者メッセージ1 松下市長への一言、二言…… 田村 和寿さん（中町）

半世紀に及ぶ我が市の‘市民参加・協働’の足跡は今や‘社会的文化資産’とされて良い。その継承に更に時代が求める斬新な‘街づくりの方法や施策’を加えるために！

■女性市長としての存在性を確信し、新たな可能性を切り開く！

‘女性としての大きな存在意味’を視野に、広く現代社会への意識改革への働き掛けを。例えば、‘会議のやり方’、‘法規内容や報告書づくり’等。女性・男性を問わず新たな発想の源泉と確信している。

■多彩な市民活動の現場に対応し、力添えし、その多様な可能性を広げる！

今日の市民の生き方、暮らしや住まい方の多様化は著しく、行政需要や政策対象の見極めや特定化は難しく、公共サービス提供に不均衡、不平等も…。とかく少数者故に市政への回路の限定される場合の要請に対しても、市政側からふれ合う機会を積極的に設けて欲しいと願っている。

■次世代に向けて自治と街づくりの意味と可能性を教え、伝える！

児童から更に上の年齢層にまで、この高密度生活環境の中に居ながら‘街や暮らし’の仕組みに目を向け、社会を学び取る機会が閉ざされ、限定されているような気がしている。もっと早い時期から‘自分の街’の出来上がりや仕組みについての視線を育む機会の工夫が望まれる。

■街づくりの目標は独自文化創造への終点無き歩みと捉える！

都市の評価には人口、所得、事業所、賑わい等と多様な指標が用いられるが、長期的プラス、マイナスを込めての評価は‘生涯を通じての心身の健全なあり様と心地良さ＝文化’に他ならず、現在もそこへの無窮の道筋の一区切りとしての視座が求められよう。

支援者メッセージ2 松下市長に願うこと 平野 治さん（桜堤）

■市民のための市政の継続を！

前々市長による22年間の市政からの転換・改革は、邑上前市長の12年間では未だ途上である。松下さんには、2期も3期も頑張ってもらいたい。

■共同・共闘の力を大切に！

改憲準備をすすめて、お友達政治で国を混乱に貶めている安倍政権は、それでも居直りつづけている。一地域とはいえ、武蔵野の市民と政党・諸会派議員の共同が市長をつくりだし、そして政治を変えられることを示してほしい。国政にも都政にも影響を与えよう、松下さんからそういう勇気をもらいたい。

■信頼はいつも専制の親である！

私たちが、松下さんの「無条件応援団」というわけにはいきまい。もの言う市民がいて、もの聴く首長がいつそう輝くようにしたいものだ。

支援者メッセージ3 松下流で立ち向かって 齋藤理恵子（吉祥寺南町）

武蔵野市長になられ、益々パワーアップしている松下さん！

私と同じ保育園児のママだった松下さんだから子育て支援や教育にも理解あるパワーを発揮して下さい。私と同じ保育園児のママだった松下さんだから子育て支援や教育にも理解あるパワーを発揮して下さい。

全ての事案に松下流で立ち向かって下さい。

何より曲がった事が大嫌い。行動力が人一倍ある松下さん。新しい武蔵野市政を拓いていくに相応しい方だと信じております。

私は全力で応援していきます!!

来たる、2018年8月19日（日）武蔵野スイングホールに於いて、市政報告会を開催いたします。

市政報告会に先立ち20分程度の会員総会を予定しております。総会後に、第1部としまして、松下玲子市長より市政就任後約10か月間の市政運営に関する報告をいたします。質問や意見交換も予定しておりますので、ぜひご参加ください。

第2部では、ワンドリンクとつまみでのどを潤して、楽しく懇親しましょう。懇親会については、準備の都合上、別紙にて申込みをお願いしております。よろしくお願いたします。

日時 8月19日（日）14時～16時40分

会場 武蔵野スイングホール 11F レインボーサロン

武蔵野市境2-14-1（武蔵境駅 nonowa 口徒歩2分）

☆第1部 総会・市政報告会（申込不要） 14：00～15：40

☆第2部 懇親会（会費500円・申込要） 15：50～16：40

※別紙にて申込みください。

ご入会と寄付のお願い



「松下玲子を応援する会」は、憲法・平和・基本的人権が尊重される社会および住み続けられるまち武蔵野市の実現を目的とし、講演会の開催、会員による会合の開催、会報の発行、その他本会の目的を達成するために必要な事業を行います。この目的に賛同する個人で、入会申込書にご記入お申込みの上、年会費2,000円のお支払いをもって会員となります。

皆さまには、この趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますよう心よりお願い申し上げます。ご入会ご希望の方は別紙の「入会申込書」にご記入の上、FAX、郵送またはメールでご連絡ください。ご入金確認後に領収証と規約をお届けいたします。

FAX 0422-50-0697 メール reiko@matsushita.name

住所 〒180-0006 武蔵野市中町1-2-3 ミタカハイム501

※松下玲子を応援する会は、皆様からの会費と寄付で運営されています。

寄付にご協力いただける方も、同封の払込取扱票にてご送金下さいますようお願いいたします。

編集後記

ようやく創刊号をお届けできました。大変お待たせして、申し訳ありませんでした。なるべく多くの会員の方からの声をお届けすべく、編集いたしました。今後も皆さまからのメッセージ等、随時募集して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

（宮子）

事務所には担当者が常駐していないため、お返事に時間を要します。ご容赦ください。